



画 東江順子

残暑厳しい折といたいところですが、連日の雨模様で梅雨に戻ったようですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。4月の総会で、発足10年の記念事業をしましょうと決まり、何かと皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、ご協力をお願い致します。

さて今回は、峯さんと三好さんに日頃の生活信条を投稿していただきました。それと、10年も続いた若松区高須地域の夏祭りの奉仕活動(かき氷づくり)。有志の方々ほんとうにご苦労様でした。

今年は10周年記念事業です

4期会長 岡 ひろみ

天候不順の中、みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、私たち、夢追塾4期「ほのぼのネットワーク」会員は、各自が卒塾後の、「夢」や「希望」を語って卒塾してから、今年4月に10年が経過いたしました。

今年の総会で、何か記憶に残るものとして、今後に繋げていけたらいいがなあと言う意見が多数でまして、新たに10周年記念事業を行うことが決まりました。その内容は、

(1) 10年間の活動に関する記録の「記念誌の作成」

(2) 小旅行等の「10周年記念事業」の実施です。記念事業のための実行委員会を設立し、すでに、準備作業に入っています。

実行委員会は次の通りで、

記念誌作成は、高さんを中心に岡本・松井・新見・江崎・香月・福島さんをお願いしました。

記念事業は、幸田・中尾・久保さんをお願いしました。

詳細はそれぞれの委員会から会員各位へ、ご案内、ご協力をお願いすることになります。

「何も今更・・・」と言うご意見の方もおられると思いますが、あの卒塾の想いを思い出していただいて『「10年間何をしたかなー」と思い直す機会だ』と、会員の皆様温かいご協力・支援をいただきますようお願い申し上げます。

「ほのぼの丸」大海原へ

高 和美

総会での意向を受けてまだ7月の暑い中、第1回目の記念誌作成実行委員会を開催しました。委員の皆様から、どのような紙面にするか、ページ数は何ページ、印刷、製本は？どのような原稿をお願いするのか、どのような方法で原稿を集めるのか、いろいろな意見、思いがでました。

委員も原稿を提出される方も、記念誌作成に温度差があることでしょう。皆様の意見・想いを全て一冊に納めることは不可能ですが、より多くの方の想いを反映した紙面にできたらと思っています。まずは、発行済みのほのぼのネットワーク通信を活用しながら、あらたに10年のあゆみの年表を作成し、会員の現在の状況の写真を載せたいと思います。ほかにも原稿の依頼は連絡班を通じて行います。

第一回目の原稿集約は9月30日です。下記までよろしくお願いたします。高 和美

郵便 807-0835 八幡西区東折尾町 19-21

TEL 090-7382-6419 fax 093-695-7722

メールアドレス kkazumi2022@yahoo.co.jp

面舵いっぱい、取舵いっぱい「ほのぼの丸」希望と不安をのせて大海原への船出です。

記念事業

=小旅行=

ほのぼのネットワークも10周年

10年の楽しかったこと、嬉しかったこと、これからのこと、etc. 思いのたけを・・・コトコト列車で!!

ただいま若松から直方まで各駅停車で行こうか、田川からぐるりと平成筑豊鉄道で行橋まで行ってみようか思案中です。多くの皆さんの参加を夢見て残り少ない脳みそを駆使しています。

日程等未定 メール、連絡網でお知らせいたします。

企画責任者: 幸田 中尾 久保





「令和元年生き方改革!？」

峯 恭子

寿退社が当たり前だった昭和 50 年代に専業主婦となり、23 年目に訪れた晴天の霹靂。結婚後の第二の人生後半は、社会教育という分野で働かせて頂きました。

あれから17年、定年退職を迎えた私にとって、「令和」は第三の人生の始まりとなりました。定年後は所属する団体やグループが5つはあった方が健康寿命が延びるという、ある講師の言葉に納得し、「教養(今日用がある)」と「教育(今日行くところがある)」のために、私のスケジュール帖は埋まっていきました。

しかし、気がつけば、本当にやりたいことをする暇がない、本末転倒ではないか！退職前より多忙な日々を送っている自分にこれではいけないと気付き、人生 100 年時代のこれからの生き方として、楽しく、無理なくをモットーにやっとうと考えている今日この頃です。

今回は、繁松 信行さんをお願いします。

「私が出会った言葉」

三好泰子

「苦境にあっても天を恨まず、運命に耐え助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です」

気になる言葉を見つけたら、都度書き留めている。上記の言葉は東日本大震災後、気仙沼市階上^{はしがみ}中学校男子生徒の卒業式答辞です。

ジーンときた。なんと健気で力強い言葉なのか。直後はいつも東北を向いていたのに・・・自身の弱さに恥入りながらこの言葉を噛みしめている。

伝統行事の行く末は？

高 和美

周りで、今年は盆踊りのためのやぐらを組む人手が無く、盆踊りがなくなったと言う話を何か所の方から聞きました。

お墓(個人墓)掃除に行くときまでは、15 年間はずいぶんきれいに草刈がされ当たり前のごとく通って行きました。去年は、草が茂っていて歩きにくく、今年は藪になり通ることができませんでした。あまりの変化にびっくりです。

高齢者を地域で支えあうにはと、行政主導で地域包括ケアの取り組みがなされています。新たに作り出すのは困難を極めます。現在の地域のつながりを大事にしていきたいものです。

これも続いています

4 期生の有志の高須地区の夏祭り支援

夢追塾 4 期生(ほのぼのネットワーク)の有志グループが恒例で支援している若松区高須地区の夏祭り「縁」が令和元年 8 月 10 日 18 時～開催されました。

1000 人を超える地域の方が参加し今年の慰霊祭、盆踊りの行事をはじめ地元の方の演舞、子どもたちのゲーム大会、特別招致の「小倉祇園太鼓」など賑わいました。

夢追塾同窓会恒例の「かき氷」も瞬く間に完売しました。携われた皆さん高須の夏まつりご支援ありがとうございました。(報告・文責・写真: 香月英彦)



写真左から

新見正康さん、福内一之さん、久保晴資さん、岡ひろみさん、岡本睦彦さん、江崎弘子さんには段取りなどお世話いただきました。



行列ができました



慰霊・供養祭 高須中央公園にて

地域に伝わる供養祭です。盆踊で老若男女がつどいます。盆踊り 練習の成果は・・・

Schedule

- すてきな仲間たち
 - 11 月 9 日(土)10 時から 17 時 展示作品
 - 11 月 10 日(日曜日) 12 時から
 - ウェルとばた 多目的ホール
- ほのぼのネットワーク総会
 - 2020 年 3 月 8 日(日) 時間・場所未定
 - メール、連絡網でお知らせいたします。